

米有力VC、日産と提携 モビリティーVB育成

2018年2月1日 18:08

米有力ベンチャーキャピタル（VC）、プラグ・アンド・プレイ（カリフォルニア州）の日本法人は1日、日産自動車とパートナー契約を結んだと発表した。自動車や交通などのテーマを含むモビリティー分野で、創業間もない国内外のスタートアップ企業を育成する支援プログラムを始める。

1日に支援対象先の募集を開始した。支援プログラムはモビリティーのほか、フィンテック、あらゆるモノがネットにつながる「IoT」、保険とIT（情報技術）を融合したインシュアテックの4分野で約40社を選抜。6月から3カ月かけて、戦略立案など様々な面でスタートアップを集中的に指導する。

日産はプラグ・アンド・プレイと支援先の選定にも参加し、自動運転や電気自動車（EV）の技術革新が進む自動車分野で、有望なスタートアップの発掘を目指す。スタートアップとのネットワークを広げ、社外の技術やアイデアを事業に生かすオープンイノベーションを推進したい考えだ。

仏ルノー・日産・三菱自動車連合トップのカルロス・ゴーン氏は1月にコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）を設立、5年で最大10億ドル（約1090億円）を投じると発表した。CVCを通じて、プラグ・アンド・プレイと選定したスタートアップへの将来的な出資も視野に入れている。

シリコンバレー拠点のプラグ・アンド・プレイは2006年創業。世界12カ国・26カ所にある拠点のネットワークを駆使し、各業界の企業などと連携しながらスタートアップを育成する「世界最大のアクセラレーター（起業家学校）」として知られる。米決済大手ペイパルなどを支援した実績を持つ。昨年7月に日本法人を設立、11月に本格始動した。

日本での提携先は日産のほか、三菱UFJフィナンシャル・グループ、東急不動産、パナソニック、SOMPOホールディングスなど11社となった。

（企業報道部 駿河翼）



プラグ・アンド・プレイは昨年11月から国内外のスタートアップを支援している

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI No reproduction without permission.